

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金

～令和2・3年度実施事業および効果検証を公表～

企画課企画調整係 ☎0824-73-1128

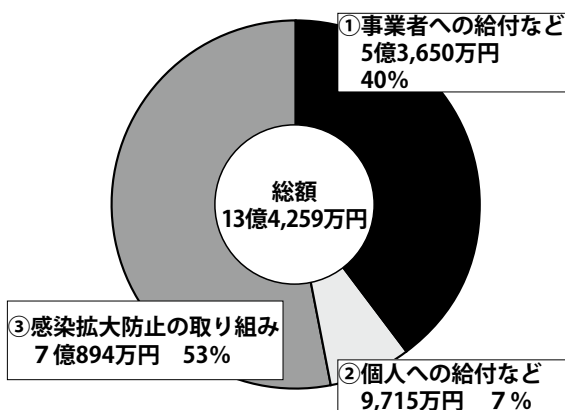
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下「交付金」）は、新型コロナウイルスの感染拡大防止や地域経済、住民生活を支援し、地方創生を図るために創設されたものです。国が地方公共団体に対して交付し、地方公共団体は地域の実情に応じた、きめ細かい事業を実施することができます。

市は、令和2年度から令和3年度に交付金を活用して実施した事業について、事業の内容や成果などを検証し、ホームページに公開しています。

【市ホームページ】 https://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/industry/post_182.html



事業分類別交付金の割合



交付金を活用した事業の分類と事業費など（万円未満四捨五入）

事業分類	事業数	事業費	うち交付金充当額
①事業者への給付など	23事業	5億5,733万円	5億3,650万円
②個人への給付など	1事業	9,715万円	9,715万円
③感染拡大防止の取り組み	31事業	9億2,695万円	7億894万円
合計	55事業	15億8,143万円	13億4,259万円

交付金を活用した事業の一例

庄原市雇用維持支援助成金

事業分類 ①事業者への給付など

実施年度

▼第一次 令和2年度

▼第二次 令和3年度

事業費

▼第一次 1億727.1万円

▼第二次 1億564.5万円

事業内容

コロナ禍で、雇用維持と事業継続に
取り組む市内事業者を支援し、経営回
復の一助としてもらうため、助成金を
支給しました。

庄原市子育て世帯応援臨時給付金

事業分類 ②個人への給付など

実施年度 令和2年度

事業費 971.5万円

事業内容

新型コロナウイルスの感染拡大によ
る学校休業に伴い、児童・生徒の外出
自粛の影響を受けた子育て家庭の経済
的負担を解消するため、一世帯当たり
5万円の給付
金を支給しま
した。



庄原市キャッシュレス決済推進 プロジェクト支援事業

事業分類 ③感染拡大防止の取り組み

実施年度 令和2～3年度

事業費 4億131.3万円

事業内容

コロナ禍での「新しい生活様式」に
対応したキャッシュレス社会の構築を
市内全域で推進するため、キャッシュ
レス決済に対応可能なカード（いざな
みカード）を発行しました。また、消
費により市内経済の活性化を推進す
るため、市民に1万円分のポイントを配
布しました。



「教育情報化推進事業 （GIGAスクール構想の実現） 端末整備事業」

事業分類 ③感染拡大防止の取り組み

実施年度 令和2年度

事業費 598.3万円

事業内容

コロナ禍での、学校の臨時休業時の
学習や遠隔授業などに活用することを
目的として、市内小中学校の児童生徒
に、1人1台のタブレット端末を整備
しました。